

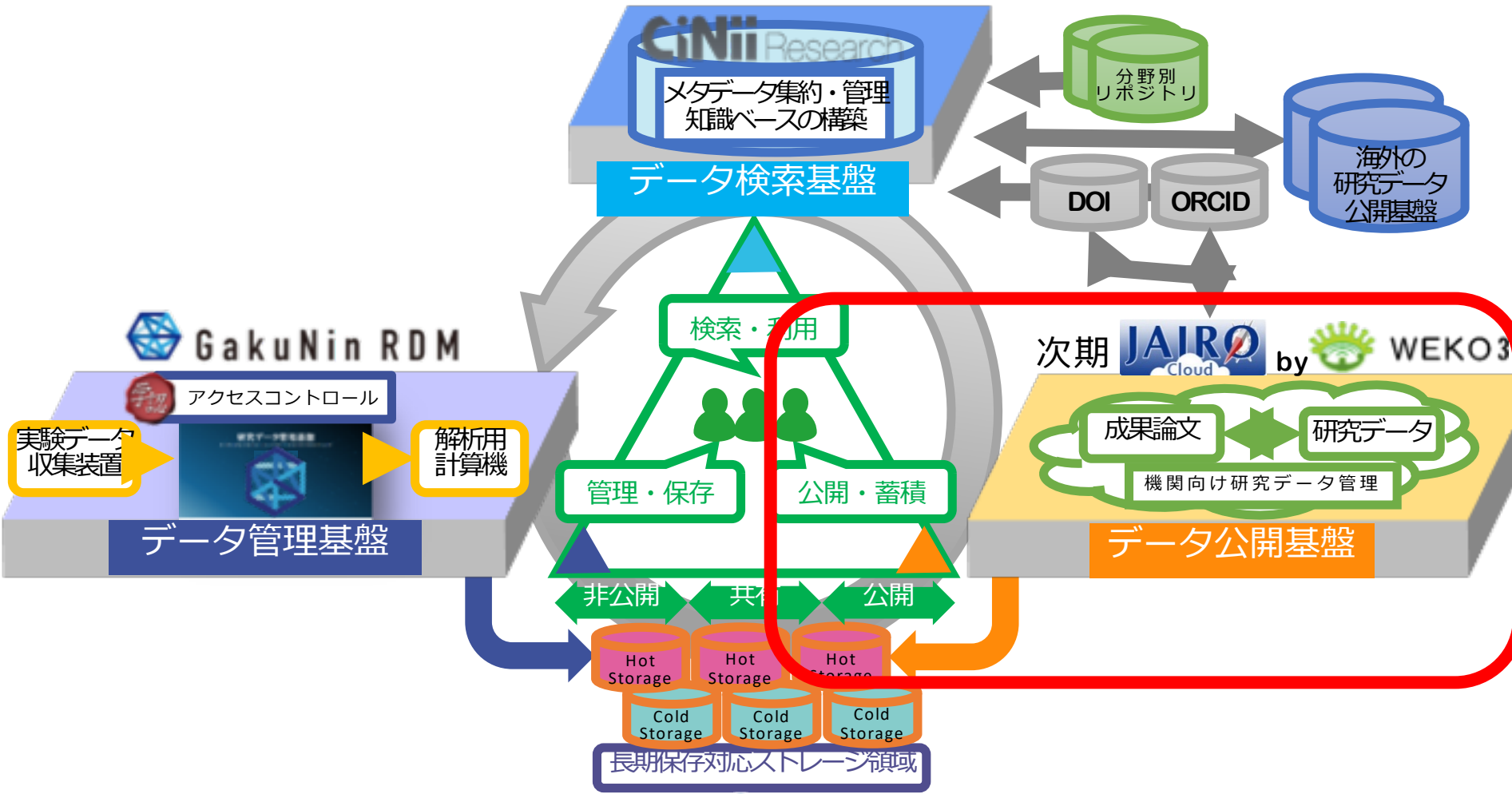
# 研究データ公開基盤 次期JAIRO Cloud (WEKO3)

国立情報学研究所

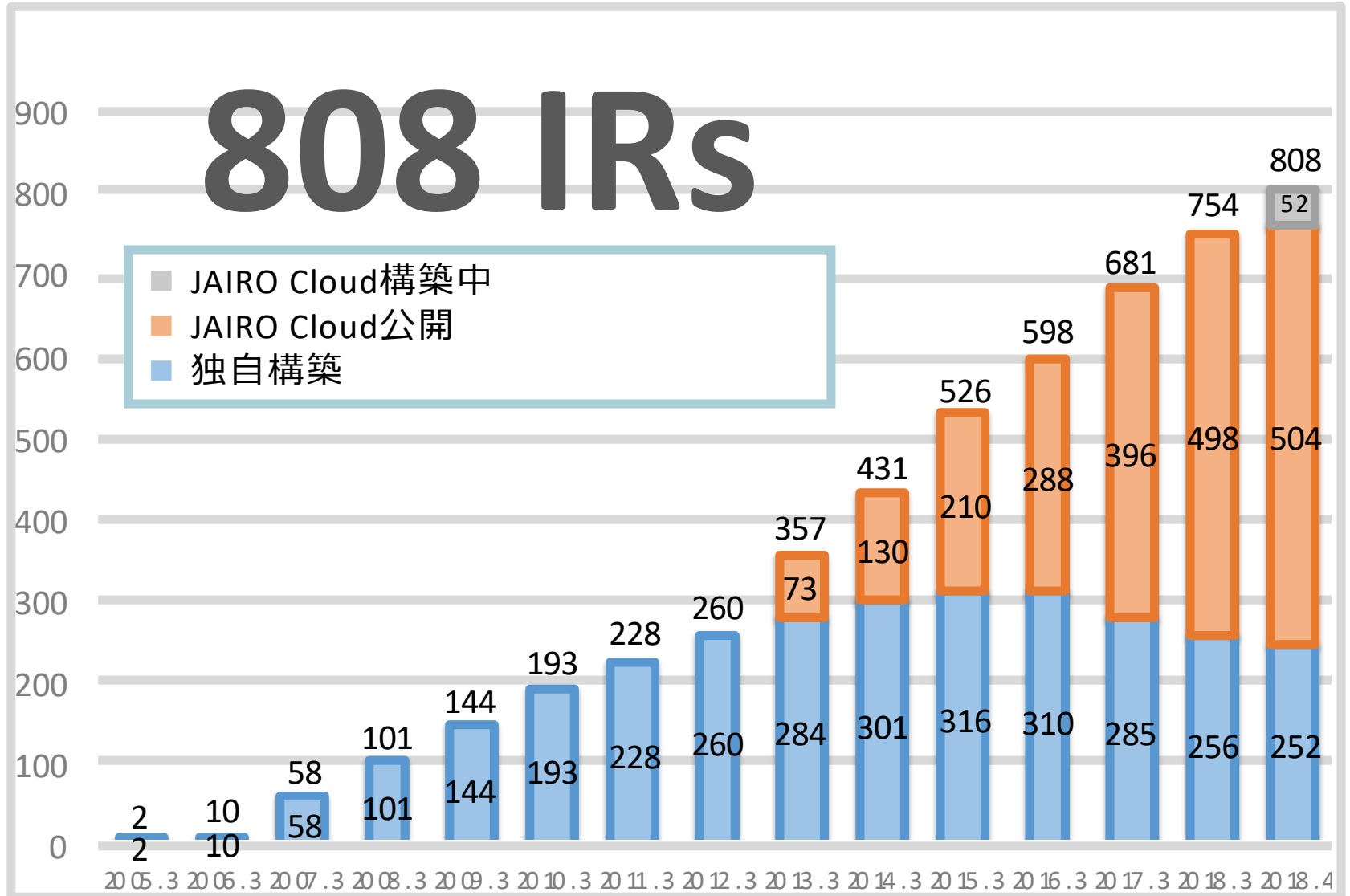
オープンサイエンス基盤研究センター

林 正治

# NIIが開発する研究データ基盤

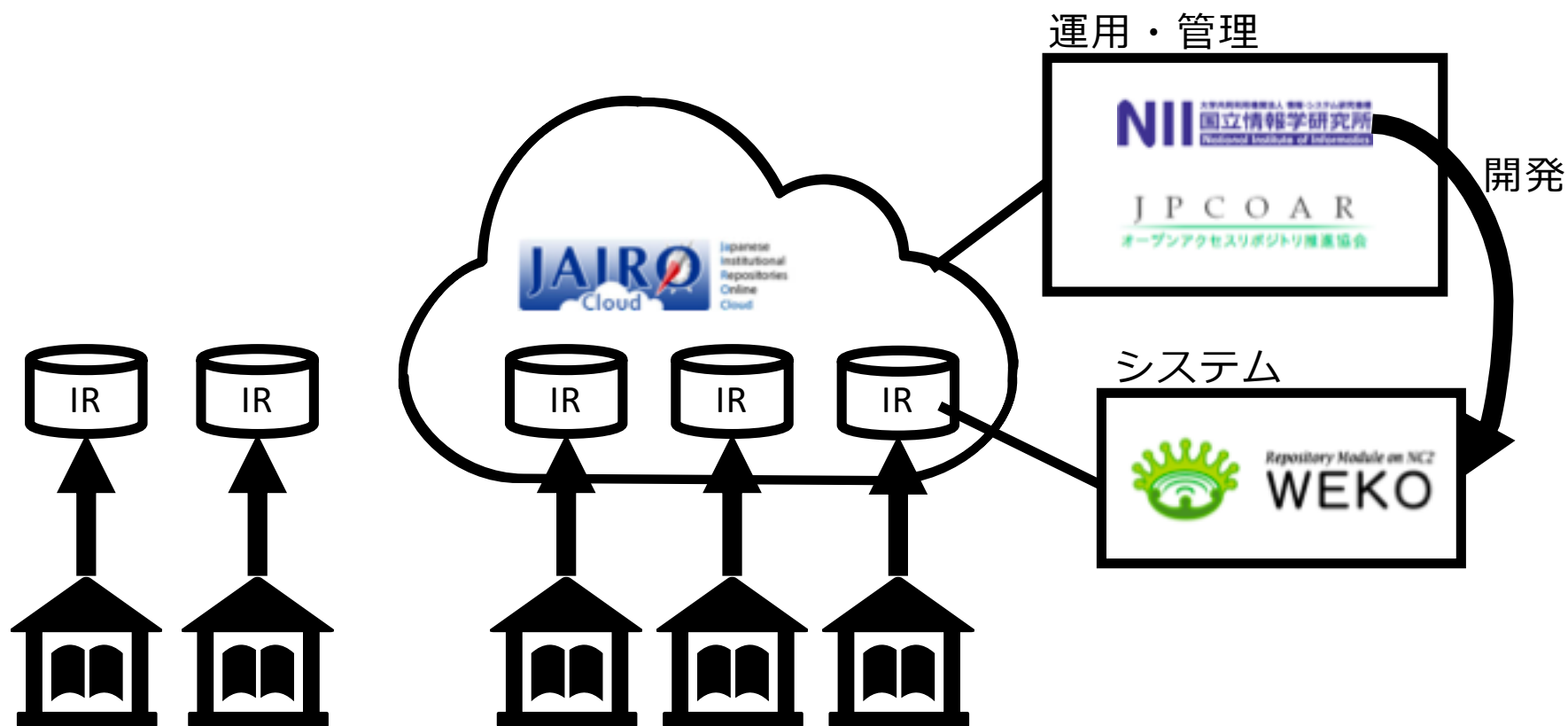


# 日本の機関リポジトリ



# JAIRO Cloud

## クラウド型の機関リポジトリサービス



# WEKO2

## • 理念 :

研究成果の共有が進む学術社会を作りたい

- NetCommons2(NC2)モジュール
  - CMSとリポジトリの融合、コミュニティサイト構築の簡便化
- DSpace, EPrints などと等価の機能
  - リポジトリに必要な機能は殆どデフォルトで実装済み
- カスタマイズ可能なメタデータ項目定義・配信機能
  - 機関の状況に応じて手軽にメタデータ項目をカスタマイズ可能
- SWORD Client for WEKOによる一括登録機能
  - Excelを使っての一括登録・変更が可能



文献の扱いを中心とした機能を提供  
実ユーザ (JAIRO Cloud) の声を常に反映し高機能化

# 求められる役割

---

## • 文献リポジトリとして

- 機関や研究費助成機関からの義務化に対応
  - 機関内における異なるワークフローに対応可能
  - 登録や公開のワークロードを軽減できる機能提供
- JAIRO Cloudサービスとしての成熟
  - 国内の全機関が利用してもサービスの可用性・信頼性・保守性を担保

## • データリポジトリとして

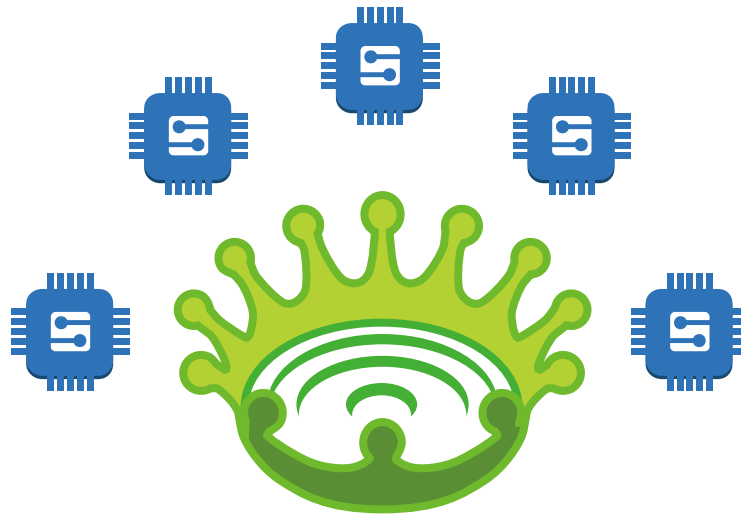
- 論文と関連したエビデンスデータの簡便な登録
- 多様な利用形態や機能要件に対応
- スケーラビリティを確保

# WEKO3の理念

---

研究成果の**共有**から**活用**へ

つながる



つなげる

# WEKO3の概要

- **理念：**

研究成果の活用が進む学術社会を作りたい

- **方針：**

- WEKO2の機能性を踏襲・強化
- JAIRO Cloudとしての可用性・信頼性・保守性の確保
- 文献・データリポジトリとしての機能要求に対応



WEKO3

データリポジトリとしての実績  
洗練されたシステム・アーキテクチャ

文献リポジトリとしての実績  
実ユーザーの声を反映し高機能化



# WEKO3の主な特徴

---

- 研究データ向け簡便セルフアーカイブ機能
  - Gakunin RDMとの連動機能の提供
- 論文・研究データ公開ワークフロー機能
  - WEKO2のワークフロー機能を強化
  - カスタマイズ機能の追加
  - 登録・公開ワークロード軽減機能の提供
- 分野別メタデータ管理機能
  - WEKO2のカスタマイズ可能なメタデータ項目定義・配信機能を強化
- WEB API
  - WEKO3からの情報取得が可能となるAPIの提供

# WEKO3への移行について

- WEKO2からの移行
  - JPCOARと連携しツールを開発予定(2019年度)
    - JAIRO Cloudは自動移行
    - JPCOARマッピングは可能な範囲で実施
    - 最終確認は機関に依頼予定（ご協力お願いします）
- WEKO2以外からの移行
  - JPCOARと連携しニーズに応じてツールを開発予定(2020年度以降)



NEW



With



Repository Module on NC2  
WEKO

With



WEKO3

# 今後の予定

2017年開発：WEKO2機能、基本UIの開発

2018年開発：ワークフロー機能の強化とUIの改善、エビデンスデータ登録機能の開発、運用基盤環境の構築

## • JAIRO Cloudへの展開

- 2019 試行運用
- 2020 正式運用

## • 国際連携

- COAR（特にNGR機能の実装）
- CERN & Invenio Community

## • 多様なドメインとの連携

- 分野別リポジトリ
  - 分野特有の機能実装
- 付加価値サービス
  - API連携・利用

